

●「機会」：みどりのまちづくりを推進していく中で追い風となる外的要因※

※一般社会にとっては「脅威」だが、みどりのまちづくりを推進するきっかけとなる要因も「機会」として分類

●「脅威」：みどりのまちづくりを阻害する外的要因

●「強み」：大阪市が元々有しているみどりの特長

●「実績」：大阪市が注力して進めてきたみどり施策

●「弱み」：大阪市が元々有しており、根本的な解決が困難なみどりの内的要因

●「課題」：みどりのまちづくりにおいて、大阪市が今後解決すべき課題

外的要因

Opportunities
(みどりを取り巻く「機会」)

- 自然災害の激甚化
- 食糧供給の不安
- グリーンインフラの波及
- コロナ禍におけるオープンスペースの重視
- SDGsの波及
- 脱炭素社会の推進
- 健康への関心の高まり
- 生活の場の都心回帰
- ICT・Society5.0の波及
- 都市開発事業の進展・拡大
- 都市整備・再生のシンボルとしてのみどりの活用
- 多様な主体と連携した社会づくりの推進
- 多様な財源活用
- 平均気温の上昇
- 低未利用地の増加
- 生物多様性への警鐘
- ライフスタイルの多様化
- 公園ストックの再編
- 都市間競争の高まり

Threats
(みどりを取り巻く「脅威」)

- 将来的な人口減少・少子高齢化

Strengths
(大阪市のみどりの「強み・実績」)

【大阪市が元々有しているみどりの「強み」】

- 大阪の歴史・文化を感じられる貴重なみどり
- 河川が形成する豊かな水辺空間
- 大都市ならではの多様な人材

【大阪市が取り組んできたみどりの「実績」】

- 緑化100年宣言以降におけるみどりの量的拡大
- 桜・梅・イチョウ・菖蒲などの四季の花による彩り
- 市内全域での公園整備
- 市民や民間団体と連携したみどりのまちづくり
- 保存樹・保存樹林の指定などによるみどりの保全
- 屋上・壁面緑化や資源循環などの先進的な取り組み
- 水辺のみどり空間を活用した水都大阪のイメージ醸成
- 民間活力を活用した公園の魅力向上
- 「パークファン事業」による公園活用の促進

(1) 「安全・安心効果」に関する主な取組み

継続

自然災害の激甚化などを「機会」として、みどりの量的拡大を図ってきた「強み・実績」を活かし、**安全・安心なみどりを今後も確保していくことが必要**

(2) 「生活の質の向上効果」に関する主な取組み

継続

SDGsの波及などを「機会」として、みどりの保全や量的拡大を図ってきた「強み・実績」を活かし、**環境・景観を下支えするみどりを保全・形成などが必要**

見直し

都心回帰などを「機会」として、公園活用を促進してきた「強み・実績」を活かし、**「サードプレイスとしてのみどり」**などの観点について検討が必要

(3) 「生産拡大効果」に関する主な取組み

継続

都市間競争の高まりなどを「機会」として、大阪らしさを感じられるみどりの「強み・実績」を活かし、**特徴的なみどりの保全や都市開発に合わせたみどりの創出が必要**

見直し

ICT・Society5.0の波及などを「機会」として、多様な人材が集まる「強み・実績」を活かし、**「イノベーションを生み出すみどり」**などの観点について検討が必要

(参考) SWOT分析表 ②「機会」「脅威」×「弱み・課題」

●「機会」：みどりのまちづくりを推進していく中で追い風となる外的要因※

※一般社会にとっては「脅威」だが、みどりのまちづくりを推進するきっかけとなる要因も「機会」として分類

●「脅威」：みどりのまちづくりを阻害する外的要因

●「強み」：大阪市が元々有しているみどりの特長

●「実績」：大阪市が注力して進めてきたみどり施策

●「弱み」：大阪市が元々有しており、根本的な解決が困難なみどりの内的要因

●「課題」：みどりのまちづくりにおいて、大阪市が今後解決すべき課題

外的要因

Opportunities (みどりを取り巻く「機会」)

- 自然災害の激甚化
- 食糧供給の不安
- グリーンインフラの波及
- コロナ禍におけるオープンスペースの重視
- SDGsの波及
- 脱炭素社会の推進
- 健康への関心の高まり
- 生活の場の都心回帰
- ICT・Society5.0の波及
- 都市開発事業の進展・拡大
- 都市整備・再生のシンボルとしてのみどりの活用
- 多様な主体と連携した社会づくりの推進
- 多様な財源活用
- 平均気温の上昇
- 低未利用地の増加
- 生物多様性への警鐘
- ライフスタイルの多様化
- 公園ストックの再編
- 都市間競争の高まり

Threats (みどりを取り巻く「脅威」)

- 将来的な人口減少・少子高齢化

Weakness (大阪市のみどりの「弱み・課題」)

【大阪市が元々有しているみどりの「弱み」】

- 自然の緑に恵まれないことによる緑量の少なさ
- 高度な都市化に起因する都市型災害のリスクや生物多様性の低下

【大阪市が今後解決すべきみどりの「課題」】

- 植栽基盤の制約などによるみどりの機能低下
- 公園施設の老朽化
- 地域によらず画一的な公園機能
- 量的拡大を図ってきたみどりの維持管理
- みどりの重要性の発信不足

(1) 「安全・安心効果」に関する主な取組み

見直し

コロナ禍や食糧供給の不安などを「機会」として、「弱み・課題」である災害などのリスクを低減させるために、「**グリーンインフラの概念**」や「**レジリエントなまちづくりに寄与するみどり**」などの観点について検討が必要

(2) 「生活の質の向上効果」に関する主な取組み

見直し

ライフスタイルの多様化などを「機会」として、「弱み・課題」である画一的な公園機能を改善させるために、「**地域に合わせた公園機能の再編**」などの観点について検討が必要

(4) 新たな観点に基づく主な取組み

新規

ICT・Society5.0の波及などを「機会」として、「弱み・課題」であるみどりの維持管理や重要性の発信不足を改善させ、みどりの効果発現に必要な資源を呼び込み、さらなる効果発現につなげていくために、次の観点などについて検討が必要

- ・みどりの効率的な維持管理
- ・社会的・経済的なみどりの価値の見える化
- ・みどりに関する積極的な情報発信 など